

<平成28年度基金充当分>

|                  |  |  |
|------------------|--|--|
| 事業の区分            | 1. 医療機能の分化・連携に関する事業  |  |
| 事業名              | 【NO.3 (医療分)】<br>病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備支援事業   | 【総事業費】<br>936,398千円<br>【R4 事業費】<br>0千円 |
| 事業の対象となる区域       | 県北地方、県中地方、県南地方、会津地方、南会津地方、相双地方、いわき地方   |  |
| 事業の実施主体          | 病院、福島県医師会  |  |
| 事業の期間            | 平成28年4月1日～令和8年3月31日<br><input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了  |  |
| 背景にある医療・介護ニーズ    | <p>効率的で質の高い医療提供体制を構築するため、病床機能の分化と連携を進めることが必要。</p> <p>アウトカム指標：回復期リハビリテーション病棟入院料・地域包括ケア病棟入院料を算定する病棟数の増加</p> <p>【参考】<br/>平成28年4月時点<br/>回復期リハビリテーション病棟 794床<br/>地域包括ケア病棟 460床</p>  |  |
| 事業の内容（当初計画）      | <p>急性期から回復期、在宅医療に至るまで、一連のサービスを地域において総合的に確保するため、病床の機能分化・連携を推進するための設備の整備を支援する。</p> <p>また、病床の機能転換の促進に向け、医療機関が転換を検討しやすいよう県版の基準づくりを行うため、病床機能の基準検討会を開催する。</p> <p>また、入院患者が住み慣れた地域へ戻るための退院支援マニュアルの作成及び研修会に要する経費を支援する。</p>      |  |
| アウトプット指標（当初の目標値） | 急性期から慢性期または回復期に転換する病床 300床<br>退院支援マニュアル研修会受講者数 200名  |  |
| アウトプット指標（達成値）    | <p>〈平成28年度〉<br/>急性期から慢性期または回復期に転換する病床 190床<br/>※施設整備完了は平成29年度<br/>退院支援マニュアル研修会 県内6圏域において開催<br/>〈平成29年度〉<br/>基準検討会を1回開催。病床機能報告等を活用したデータ分析を実施し、提供している医療の内容から病床機能を分類していく仕組み作りについて検討を行った。<br/>平成30年度にかけて、引き続き検討を行っていく。</p> |  |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>〈平成 30 年度〉<br/>急性期から慢性期または回復期に転換する病床 60 床</p> <p>〈令和 4 年度〉<br/>急性期から慢性期または回復期に転換する病床 0 床</p>  |
| 事業の有効性・効率性 | <p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：</p> <p>〈平成 28 年度〉<br/>○回復期リハビリテーション病棟入院料・地域包括ケア病棟入院料を算定する病棟数の増→1<br/>※病棟運用開始は平成 29 年度<br/>観察できた→回復期リハビリテーション入院料を算定する病棟の整備を促進した。</p> <p>○退院調整支援担当者数の増<br/>観察できていない→3 年に 1 回の調査であり、次回は平成 29 年 10 月に調査予定</p> <p>〈平成 29 年度〉<br/>平成 30 年度にかけて病床機能の基準を策定してから、地域の病床機能の現状や今後の転換について議論していく。</p> <p>〈平成 30 年度〉<br/>回復期リハビリテーション病棟（確認中）床<br/>地域包括ケア病棟（確認中）床</p> <p>〈令和 4 年度〉<br/>観察できなかった→資材高騰により、補助対象事業の着工が延期されたため、未執行となった。</p> <p><b>（1）事業の有効性</b></p> <p>〈平成 28 年度〉<br/>急性期から慢性期または回復期への病床の転換に係る設備整備を支援することにより、病床の機能分化・連携が推進された。<br/>また、入院患者が住み慣れた地域で安心して生活が送れるようにすることを目指した退院支援・調整のフローが整理され、入院患者が安心して在宅療養へ移行できる体制づくりが行われた。</p> <p>〈平成 29 年度〉<br/>平成 30 年度にかけての 2 ヶ年で実施のため、具体的効果はまだ出ていない。</p> <p>〈平成 30 年度〉<br/>地域で不足する回復期病床が 60 床整備され、地域医療構想の達成に向けた一定の効果が見られた。</p> |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>〈令和 4 年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業未執行のため入力不可。</li> </ul> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>〈平成 28 年度〉</p> <p>事業実施により、病床の機能分化・連携が効率化された。<br/>また、県医師会が主体となって実施したことにより、会員への意見集約等の面で効率的な執行ができたと考える。</p> <p>〈平成 29 年度〉</p> <p>検討委員の日程調整、病床機能のデータ分析に時間を要し、検討会の開催は 1 回となったが、現状把握など必要な検討は実施できた。</p> <p>〈平成 30 年度〉</p> <p>地域医療構想調整会議で合意のあった医療機関の施設整備等を対象とし地域に必要な整備に事業を限定して実施している。</p> <p>〈令和 4 年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業未執行のため入力不可。</li> </ul> |
| その他 |   |

|                   |  |  |
|-------------------|--|--|
| 事業の区分             | 1. 医療機能の分化・連携に関する事業  |  |
| 事業名               | 【NO.5 (医療分)】<br>1 2 誘導心電図伝送システム導入促進事業  | 【総事業費】<br>10,465 千円<br>【R4 事業費】<br>10,465 千円 |
| 事業の対象となる区域        | 全県域  |  |
| 事業の実施主体           | 県、医療機関及び消防機関   |  |
| 事業の期間             | 令和3年4月1日～令和8年3月31日<br><input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了   |  |
| 背景にある医療・介護ニーズ     | <p>・本県は急性心筋梗塞の死亡率が男女とも全国で最も高い状況にあるため、治療に至る時間を短縮し、救命率を向上する必要がある。急性期の治療効果を上げ、速やかに回復期へ移行することが求められている。</p> <p>アウトカム指標：<br/>急性心筋梗塞死亡率<br/>H27：(男) 34.7 (女) 15.5→<br/>R3：(男) 34.7 以下 (女) 15.5 以下</p>   |  |
| 事業の内容 (当初計画)      | <p>・急性心筋梗塞を発症した疑いがある患者の搬送から医療機関での治療開始までの時間を短縮するため、モデル的に選定した医療機関及び消防機関に1 2 誘導心電図伝送システムを導入する。</p>  |  |
| アウトプット指標 (当初の目標値) | <p>・病院到着から再灌流までの時間<br/>R1：91分 →R3：91分以下</p>  |  |
| アウトプット指標 (達成値)    | <p>・病院到着から再灌流までの時間<br/>R1：91分 →R3：96分 (R4実績はR5年11月頃公表予定)</p>   |  |
| 事業の有効性・効率性        | <p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：<br/>急性心筋梗塞死亡率<br/>H27：(男) 34.7 (女) 15.5→R2：令和5年12月公表予定 (R4は調査対象外年度)<br/>観察できなかった→R4数値が未公表のため (代替指標)</p> <p>・12誘導心電図伝送システム導入機関数<br/>R3:3機関 → R4:10機関</p> <p>(1) 事業の有効性<br/>医療機関及び消防機関に12誘導心電図伝送システムを導入することでDTBTの短縮を図ることができた。</p> <p>(2) 事業の効率性<br/>12誘導心電図伝送に係るWGを設置し、運用ルールや課題等</p> |  |

|     |   |
|-----|---|
|     | を検討することで効率的な運用をすることができた。                                |
| その他 | 現在は一部地域のみでの運用であるため、今後、県内全域に広めていくことで、より大きな効果が期待できると思われる。 |

|                       |   |                                    |
|-----------------------|---|------------------------------------|
| 事業の区分                 | 4. 医療従事者の確保に関する事業   |                                    |
| 事業名                   | 【NO.9 (医療分)】<br>産科医等育成支援事業  | 【総事業費】<br>0 千円<br>【R4 事業費】<br>0 千円 |
| 事業の対象となる区域            | 県北地区、県中地区、県南地方、会津地方、南会津地方、相<br>双地方、いわき地区  |                                    |
| 事業の実施主体               | 病院  |                                    |
| 事業の期間                 | 平成 28 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日<br><input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了   |                                    |
| 背景にある医療・介護ニ<br>ーズ     | 本県の産婦人科医師数は、全国でも極めて低い水準にあり、<br>産科医を育成することが必要。<br>アウトカム指標：<br>当事業を活用した産科専攻医の県内定着 1 人   |                                    |
| 事業の内容 (当初計画)          | 産科の後期研修医の処遇を改善するため、産科専攻医に手<br>当を支給する医療機関に対して支援する。   |                                    |
| アウトプット指標 (当初の<br>目標値) | 産科研修医への手当支給 1 人   |                                    |
| アウトプット指標 (達成<br>値)    | 〈平成 28・29・30 年度〉<br>実績なし<br>〈令和 4 年度〉<br>実績なし   |                                    |
| 事業の有効性・効率性            | 事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：<br>〈平成 28・29・30 年度〉<br>観察できなかった<br>〈令和 4 年度〉<br>観察できなかった→募集したが、支給希望機関がおらず事<br>業未実施のため。<br><b>(1) 事業の有効性</b><br>〈令和 4 年度〉<br>事業未執行であるため記入不可。<br><b>(2) 事業の効率性</b><br>〈令和 4 年度〉<br>事業未執行であるため記入不可。 |                                    |
| その他                   |   |                                    |

|                   |  |   |
|-------------------|--|---|
| 事業の区分             | 4. 医療従事者の確保に関する事業  |   |
| 事業名               | 【No. 18 (医療分)】<br>看護職ワークライフバランス推進事業  | 【総事業費】<br>11,721 千円<br>【R4 事業費】<br>994 千円 |
| 事業の対象となる区域        | 県北地区、県中地区、県南地方、会津地方、南会津地方、相双地方、いわき地区   |   |
| 事業の実施主体           | 福島県 (福島県看護協会)  |   |
| 事業の期間             | 平成 28 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日<br><input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了  |   |
| 背景にある医療・介護ニーズ     | 看護職員が不足する中、看護体制の確保を図るため、看護職の勤務環境を改善し、負担軽減を図っていくことが必要。<br>アウトカム指標：<br>・先行事例の共有や改善策の検討による勤務環境改善が図られる。<br>【参考】常勤看護職員離職率 (資料：(公社) 日本看護協会)<br>H26：7.4%→H28 増加   |   |
| 事業の内容 (当初計画)      | 医療機関における勤務環境改善を促進するため、講師等を医療機関に派遣し、ワークショップを開催する。<br>・ワークショップ・フォローアップワークショップ<br>参加施設 3 施設   |   |
| アウトプット指標 (当初の目標値) | ・ワークショップ参加者 131 名<br>・フォローアップワークショップ参加者 65 名<br>・看護管理者等の講師を医療機関に派遣 (1 か所)  |   |
| アウトプット指標 (達成値)    | 〈平成 28 年度〉<br>ワークショップ開催 1 回 (2 日間)：参加 131 名<br>フォローアップワークショップ開催 1 回 (1 日)：参加 81 名<br>地区別研修会開催 3 回 (会津、いわき、相双) 参加：58 名<br>看護管理者の講師を医療機関に派遣 (2 施設)<br>〈平成 29 年度〉<br>ワークショップ開催 1 回 (1 日間)：参加 56 名<br>フォローアップワークショップ開催 1 回 (1 日)：参加 57 名<br>地区別研修会開催 3 回 (白河、福島、いわき) 参加：88 名<br>看護管理者の講師を医療機関に派遣 (1 施設)<br>〈令和 2 年度〉<br>・ワークショップ開催 1 回 (1 日間)：参加 19 名<br>・フォローアップワークショップ開催 0 回 (0 日)：参加 0 名<br>・地区別研修会開催 0 回 |   |

|            |   |
|------------|---|
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護管理者の講師を医療機関に派遣（0施設）<br/>〈令和3年度〉</li> <li>・ワークショップ開催1回(1日間)：参加20名</li> <li>・フォローアップワークショップ開催0回(0日)：参加0名</li> <li>・地区別研修会開催0回</li> <li>・看護管理者の講師を医療機関に派遣（0施設）<br/>〈令和4年度〉</li> <li>・ワークショップ参加者 19名</li> <li>・フォローアップワークショップ参加者 0名</li> <li>・看護管理者等の講師を医療機関に派遣（0か所）</li> <li>・地区研修会開催：0回、参加者：0名</li> </ul>   |
| 事業の有効性・効率性 | <p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：</p> <p>〈平成28年度〉<br/>先行事例の共有や改善策の検討による勤務環境改善が図られる。<br/>観察できていない→2施設について事業終了したところであり、今後の勤務環境の改善状況を注視する。</p> <p>〈平成29年度〉<br/>先行事例の共有や改善策の検討による勤務環境改善が図られる。<br/>観察できていない→1施設について事業終了したところであり、今後の勤務環境の改善状況を注視する。</p> <p>〈令和2年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤看護職員離職率 H30：8.2%以下 → R1:9.2%<br/>→ R2：未公表（病院看護実態調査は毎年5月～6月に2事業年度前の数値が公表されるため）</li> </ul> <p>観察できなかつた<br/>→（代替指標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内病院の看護職員数 H30：14,884人→R2：14,793人<br/>〈令和3年度〉</li> <li>・県内病院の看護職員数<br/>H30：14,884人→R2：14,793人→R3：14,866人</li> <li>・常勤看護職員離職率<br/>H30：8.2%以下→R1:9.2%→R2：7.3%</li> </ul> <p>観察できた→常勤看護師の離職率がR1:9.2%→R2:7.3%に減少した。県内病院の看護職員数:R2:14,793人からR3:14,866人に増加した。</p> <p>〈令和4年度〉</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>・常勤看護職員離職率<br/> H30：8.2%以下→R1:9.2%→R2：7.3%→R4：8.9%<br/> 観察できなかった→<br/> （代替指標）県内病院に勤務する看護職員数の推移（各12月1日現在）<br/> H30:14,844人 → R2: 14,793人 → R4:14,779人<br/> （人口減少率に対し、一定数の看護職員を確保できている。）</p> <p><b>（1）事業の有効性</b><br/> 〈平成28・29・令和2年度〉<br/> 医療機関による勤務環境改善について、先行事例の共有、改善策の検討、実施により、看護職員の離職防止と定着化につながった。<br/> 〈令和3年度〉<br/> WLBの基本的な考え方を学ぶ他に、普段の業務では学ぶことのできない法律や規則の観点からの労務管理についての講義を実施することにより、安全且つ快適な職場づくりを推進することの重要性を認識することで、看護職員の離職防止と定着課につなげた。<br/> 〈令和4年度〉<br/> 看護職が働き続けることのできる安心安全な職場づくりを目指す取組を続けることで、看護職員の離職防止と定着化につながった。</p> <p><b>（5）事業の効率性</b><br/> 〈平成28・29・令和2年度〉<br/> 福島県看護協会への委託によりワークショップ、フォローアップワークショップ、地区別研修会等を企画・運営しており、効率的に事業実施できた。<br/> 〈令和3年度〉<br/> 参加医療機関が、アクションプランを作成したことにより、現状と課題を明確とし、WLBを実現するための具体的な取り組みをどのように行うかを確認することができた。<br/> 〈令和4年度〉<br/> 福島県看護協会への委託により、継続が可能な看護職の働き方についての講演の実施、労働環境改善に関する取組の報告会、就業継続が可能な働き方の提案についてのグループワークを実施することで、効率的に事業実施できた。</p> |
| その他 |  |

|                     |   |  |
|---------------------|---|--|
| 事業の区分               | 3. 介護施設等の整備に関する事業   |  |
| 事業名                 | 【NO.1】<br>小規模介護施設等整備事業  | 【総事業費】<br>682,787 千円<br><br>【R4 事業費】<br>0 千円 |
| 事業の対象となる区域          | 県全域   |  |
| 事業の実施主体             | 福島県   |  |
| 事業の期間               | 平成 28 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日<br><input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了 |  |
| 背景にある医療・介護ニーズ       | 高齢者が地域において、安心して生活できる体制の構築を図る。   |  |
|                     | アウトカム指標：高齢者が可能な限り住み慣れた地域において住宅系サービス、施設居住系サービスの提供を受け、継続して日常生活を営むことができる。                                  |  |
| 事業の内容（当初計画）         | ① 地域密着型サービス施設等の整備を行う。   |  |
|                     | 整備予定施設等   |  |
|                     | 認知症高齢者グループホーム   | 1 施設   |
|                     | 看護小規模多機能型居宅介護事業所  | 1 施設   |
|                     | 介護型療養病床の転換  | 1 施設   |
| アウトプット指標（当初の目標値）    | ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、第 8 期介護保険事業計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行う。  |  |
| アウトプット指標（達成値）       | 以下の施設整備に対する補助金の交付決定をした。<br>○平成 28 年度  |  |
|                     | ① 地域密着型サービス施設等の整備   |  |
|                     | 施設区分  | 整備数  |
|                     | 認知症高齢者グループホーム   | 2 施設   |
|                     | 地域密着型特別養護老人ホーム  | 2 施設   |
| 認知症対応型デイサービスセンター    | 1 施設  |  |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 | 1 施設  |  |

|  | ② 施設等の開設・設置に必要な準備経費   |      |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
|--|---|------|------------------|---------------|------|----------------|------|----------------|------|---------------|------|------------|------|
|  | <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設区分</th> <th>整備数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別養護老人ホーム(広域)</td> <td>2 施設</td> </tr> <tr> <td>地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td>4 施設</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>6 施設</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>7 施設</td> </tr> <tr> <td>訪問看護ステーション</td> <td>2 施設</td> </tr> </tbody> </table>  | 施設区分 | 整備数              | 特別養護老人ホーム(広域) | 2 施設 | 地域密着型特別養護老人ホーム | 4 施設 | 小規模多機能型居宅介護事業所 | 6 施設 | 認知症高齢者グループホーム | 7 施設 | 訪問看護ステーション | 2 施設 |
|  | 施設区分  | 整備数  |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
|  | 特別養護老人ホーム(広域)   | 2 施設 |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
|  | 地域密着型特別養護老人ホーム  | 4 施設 |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
|  | 小規模多機能型居宅介護事業所  | 6 施設 |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
|  | 認知症高齢者グループホーム   | 7 施設 |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
|  | 訪問看護ステーション  | 2 施設 |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
|  | 平成 29 年度  |      |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
|  | ③介護サービスの改善を図るための既存施設等の改修  |      |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備区分</th> <th>整備数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多床室のプライバシー保護改修</td> <td>1 施設</td> </tr> </tbody> </table>   | 整備区分  | 整備数  | 多床室のプライバシー保護改修   | 1 施設          |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
| 整備区分   | 整備数   |      |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
| 多床室のプライバシー保護改修   | 1 施設  |      |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
| ○平成 31 年度  |   |      |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
| ①地域密着型サービス施設等の整備   |   |      |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設区分</th> <th>補助数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症対応型デイサービスセンター</td> <td>1 施設</td> </tr> </tbody> </table> | 施設区分  | 補助数  | 認知症対応型デイサービスセンター | 1 施設          |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
| 施設区分   | 補助数   |      |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
| 認知症対応型デイサービスセンター   | 1 施設  |      |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
| 事業の有効性・効率性   | <p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村が行う地域密着型サービス施設等の整備促進を図る。</li> </ul> <p>観察できた→地域密着型介護老人福祉施設等の整備が進められている。</p> <p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住み慣れた地域に施設等を整備することにより、入所を希望する要介護者が入所することができるとともに、身近で介護サービスを受けることができるようになる。</li> </ul> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村が施設整備を実施する事業者を公募することで、意欲のある民間事業者が参入しやすくなり、施設整備を促進することができる。</li> </ul> |      |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |
| その他  |   |      |                  |               |      |                |      |                |      |               |      |            |      |